



就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	まえだ ひでたか	性別	生年月日・年齢	
氏名	前田 秀隆	男	2001年2月15日	
競技名／種別(種目)	テコンドー／キョルギ		23 歳	
出身地	愛知県名古屋市			
現住所	埼玉県川越市			
所属先	大東文化大学テコンドー部			
練習場所	大東文化大学板橋キャンパス			
【選手プロフィール】				
■学歴・職歴				
年	月	学歴・職歴		
2019	3	名古屋経済大学市邨高等学校 卒業		
2023	3	大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科 卒業		
2023	4	大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科スポーツ・健康科学専攻 入学		
2025	4	大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科スポーツ・健康科学専攻 修了見込み		

■免許・資格

中学校教諭一種免許状(保健体育)取得、中学校教諭専修免許状(保健体育)取得見込み
高等学校教諭一種免許状(保健体育)取得、高等学校教諭専修免許状(保健体育)取得見込み

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2018	10	第3回ユースオリンピック競技大会(2018/アルゼンチン・ブエノスアイレス)	男子-55kg級 5位
2019	10	2019ギリシャ国際オープン大会(2019/ギリシャ・ハルキダ)	男子-58kg級 優勝
2022	4	2022オーストリア国際オープン大会(2022/オーストリア・インスブルック)	男子-58kg級 2位
2022	10	世界テコンドー選手権大会(2022/メキシコ・グアダハラ)	男子-58kg級出場(2回戦敗退)

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2021	3	第15回全日本テコンドー選手権大会	男子-58kg級 優勝
2021	12	第16回全日本テコンドー選手権大会	男子-58kg級 優勝・最優秀選手賞
2023	9	第17回全日本学生テコンドー選手権大会	男子-63kg級 優勝・最優秀選手賞
2024	1	パリ2024オリンピックアジア大陸別予選日本代表最終選考会	男子-58kg級 優勝

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私の強みは継続力です。私は3歳から空手を習って足技を鍛え、兄の影響で小学1年生からテコンドーを始めました。始めて3か月で出場した全日本ジュニア選手権で優勝したことをきっかけに、「オリンピックに出場したい」と思い立ち、競技に励みました。道場の先輩達が日本代表として活躍する姿を見て、私自身も「誰かに希望を届ける存在になる。」と決意し、競技成績だけでなく知識や優れた人格を得るために学生時代は「文武両道」を貫きました。

武: テコンドーでは、まず競技に取り組む意識を重要視し、毎日の練習を休むことなく参加しました。また練習がない日も自主的に練習に取り組み、妥協しない姿勢を習慣づけるようにしました。試合では相手の戦法や弱点などを探り、自身の戦術スタイルを活かしつつ、相手の隙を突くことを強みとしました。

文: 教職課程科目や教育実習での経験を通して、コミュニケーション力、物事を具体的かつ簡潔的に伝える表現力、指導力を身につける事ができました。大学院に進学後は、テコンドー競技の自身の試合映像から、点数や蹴り数のデータ分析を行っています。加えて対戦相手のデータも読み取り、その差からわかる自身や相手選手の特徴や長所、課題点などを明確化する研究に励んでおります。

文武両道を貫いた結果、競技では全日本選手権優勝し、日本代表として様々な国際大会に参加、パリ五輪アジア地区予選大会には日本代表として出場できました。

皆様の企業にご採用いただけましたら、「当たり前」のことが「当たり前」にできる社会人を目指し、競技だけでなく社業にも真摯に取り組んで成長して参ります。前田秀隆をどうぞよろしくお願いいたします。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	人との関わりが多く、誰かのサポートや人の役に立てる 人事や総務 の仕事に興味がありますが、どんな職種でも真摯に取り組めます。
②勤務地	関東
③勤務日数・時間帯	週5日(平日のみ)での半日勤務を希望します。(練習は18:30~20:30)